

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校福岡ビジネス・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	ビューティービジネス学科※	夜・通信	224 時数	160 時数	
	ペットビジネス学科	夜・通信	192 時数	160 時数	
	フラワービジネス学科	夜・通信	320 時数	160 時数	
	総合ビジネス学科※	夜・通信	192 時数	160 時数	
	IT ビジネス学科	夜・通信	224 時数	160 時数	
	経営学科	夜・通信	384 時数	160 時数	
文化・教養専門課程	愛玩動物看護学科	夜・通信	352 時数	240 時数	
(備考) ※総合ビジネス学科及びビューティービジネス学科は、令和6年入学生募集をもって募集停止しております。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ksb.ac.jp/information.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校福岡ビジネス・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページにて公表 <https://www.ksb.ac.jp/information.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤 の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学教授（現職）	2025年5月30日～ 2029年定時評議員会 終結時	ガバナンスの強化
非常勤	独立行政法人 プロジェクトリーダー （現職）	2025年5月30日～ 2029年定時評議員会 終結時	ガバナンスの強化
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校福岡ビジネス・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) カリキュラム会議にて学校長、学務責任者、学科長および授業担当で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成する。 各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当がシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。 作成時期：開始年度前年の11月末 公表時期：開始年度前年の12月中旬	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公表 https://www.ksb.ac.jp/information.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。 判定結果は授業担当の評価を学科長が確認を行い最後に学校長が確認した上で単位の認定を行う。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。評価が悪い学生には担任より指導、補講が行われる。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=基準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 GPAポイント変換：A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(全教科の評価ポイント)の合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公表 https://www.ksb.ac.jp/information.html

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 ・修業年限 3 年制の学科については、学則に定める履修時間(卒業時 2880 時数)を履修しており、142 単位以上を取得している事、および学費を全納しておること。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページにて公表 https://www.ksb.ac.jp/information.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校福岡ビジネス・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 https://www.ksb.ac.jp/information.html
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公表 https://www.ksb.ac.jp/information.html
財産目録	ホームページにて公表 https://www.ksb.ac.jp/information.html
事業報告書	ホームページにて公表 https://www.ksb.ac.jp/information.html
監事による監査報告（書）	ホームページにて公表 https://www.ksb.ac.jp/information.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		ビジネス 専門課程	ビューティービジネス 学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間 ／120 単位	160 単位時間	5472 単位時間	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			5632 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		8 人	0 人	2 人	4 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当で 2 年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 - 成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) - GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) - 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、作品制作や検定試験対策などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	3 人 (60.0%)	2 人 (40.0%)
（主な就職、業界等） 美容関係：コスメ販売、美容部員、ネイリスト等 株式会社三越伊勢丹ヒューマンソリューションズ（岩田屋 Dior）、 株式会社オブ・コスメティックス、株式会社 unite			
（就職指導内容） 1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等） IBF 国際メイクアップアーティストライセンス、JMA 日本メイクアップ技術検定試験、 シュウウエムラメイクアップ技術検定、JNEC ネイリスト技能検定試験、JNA ジェルネイル技能検定、JCMAS パーソナルカラーコンサルタント認定試験、サービス接遇検定、硬筆書写技能検定、Word 文書処理技能認定試験など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	4 人	28.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学習意欲の喪失、単位の取得が困難、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		ビジネス 専門課程	フラワービジネス 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	920 単位時間／120 単位	288 単位時間	3584 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3872 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		46 人	0 人	2 人	5 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 - 成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) - GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) - 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要） 放課後、作品制作や検定試験対策などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 (100%)	0 人 (0%)	13 人 (86.6%)	2 人 (13.3%)
（主な就職、業界等）フローリスト/ビューネラルフラワー/ブライダルフラワー フローリストリバティ、株式会社美咲、株式会社フラワーパーク、株式会社ビューティ ー花壇西日本、株式会社テイクアンドギブ・ニーズ、株式会社花かず、花工房ガラージュ ユ など			
（就職指導内容） 1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行 い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等） 技能五輪全国大会入賞、フラワーデザイン品評会受賞、フラワー装飾技能士(国家資格)、 NFD フラワーデザイナー資格検定、池坊初等科初伝～高等科皆伝、ビジネスカレッジ ユニアドバイザー、サービス接遇検定、日商簿記検定試験、ブライダルコーディネーター 技能士(国家資格)、アソシエイトブライダルコーディネーター など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		ビジネス 専門課程	IT ビジネス学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間 ／120 単位	224 単位時間	4960 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			5184 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		23 人	0 人	2 人	6 人	8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当で 2 年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 - 成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) - GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) - 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、作品制作や検定試験対策などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） Web エンジニア、システムエンジニアなど 株式会社サンリブ、CAL 株式会社、株式会社アソウ・アルファ、 シスメックス CNA 株式会社 など			
（就職指導内容） 1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等） 基本情報処理技術者試験(国家資格)、IT パスポート試験(国家試験)、DX パスポート試験、情報処理技術者能力認定試験、Java プログラミング能力認定試験、Linux Essentials, LPIC-1, OCJP-Bronze, OCJP-Silver, ビジネスカレッジジュニアアドバイザーなど			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	1 人	6.25%
（中途退学の主な理由） 就職のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		ビジネス 専門課程	総合ビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間 ／120 単位	1504 単位時間	6488 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			7992 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		15 人	1 人	1 人	0 人	1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 - 成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) - GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) - 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、作品制作や検定試験対策などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (83.3%)	2 人 (16.6%)
（主な就職、業界等）総合職、事務職、営業、不動産営業 など 日本ライフサポート株式会社、株式会社駅前不動産、株式会社ロジコムフォールディングス、株式会社リビングホールディングス、株式会社日本アクア、株式会社テンガイ株式会社川六、株式会社マイホーム情報不動産 など			
（就職指導内容） 1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等） 日商簿記検定試験、宅地建物取引士(国家資格)、リテールマーケティング(販売士)検定試験、マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)、ビジネスカレッジジュニアアドバイザー、ビジネス実務マナー検定 など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	2 人	6.6%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士		
商業実務		ビジネス 専門課程	ペットビジネス学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1920 単位時間 ／120 単位	448 単位時間	4032 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			4480 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数
120 人		136 人	0 人	4 人		4 人		8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 - 成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) - GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) - 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、作品制作や検定試験対策などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
65 人 (100%)	0 人 (0%)	54 人 (83.0%)	11 人 (16.9%)
（主な就職、業界等）トリマー/販売/ペットフード製造 Dog Trimming stanpoo、今林病院ケアクリニック、ケロルのペットショップ、Dog Salon MIRA、ペットマックス、ビバペットドッグスホーム、株式会社ひごペットフレンドリー、トリミングサロンフォレスト、五条ペット（崇福寺前動物病院）、士師獣医科病院、ペットメイト、Salon & Spa Dog One、みどりヶ丘動物病院、イオンペット株式会社、たまとぽち動物病院、株式会社ペテック（五条ペット）、有限会社 Coo&RIKU、Wan Call、マザーズドッグ、株式会社 AHB、DEF、藤井動物病院、CHROME L SHAKE、ドッグリゾート CS、イオンペット株式会社、DLD、きいれ動物病院、トリミングサロン R、どっぐばーる、fuwanfuwan、わかみや動物医療センター、ビューティーパピーペット			
（就職指導内容） 1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等） 認定トリマーライセンス（ベーシック B～C 級）、愛玩動物飼養管理士（1～2 級）、JKC 愛犬飼育管理士、ICC 認定キャットグルーマー、認定ドッグトレーナーライセンス（B～C 級）サービス接遇検定、Word 文書処理技能認定試験、サービス接遇検定 など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
145 人	16 人	11.0%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、健康上の理由、単位の取得が困難、経済的理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		ビジネス 専門課程	経営学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間 ／120 単位	1376 単位時間	4864 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			6240 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		61 人	1 人	2 人	9 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で 2 年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 - 成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) - GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) - 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要） 放課後、作品制作や検定試験対策などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (78.5%)	3 人 (21.4%)
（主な就職、業界等）事務職、総合職、営業、サービス業 株式会社シノケングループ、CAL 株式会社、株式会社上田設備、株式会社川越工業、 株式会社ホテルニューアワジ、株式会社オープンアップコンストラクション、吉川工業 ファインテック株式会社、株式会社 Koyo 証券、株式会社 Key table、株式会社アソウ・ ヒューマニーセンター、自衛隊 など			
（就職指導内容） 1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行 い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等） ファイナンシャルプランニング技能検定(国家資格)、ビジネス実務法務検定、日商簿記 検定、内閣府認定マーケティング検定、宅地建物取引士(国家資格)、ビジネスカラー ジュニアアドバイザー、マイクロソフト Office スペシャリスト(MOS)（Word、Excel、 PowerPoint、Access）ビジネス実務マナー検定、Word 文書処理技能認定試験、Excel 表 計算処理技能認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41 人	5 人	12.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更、単位の取得が困難		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	愛玩動物看護学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2880 単位時間／180 単位	1344 単位時間	3584 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			4928 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
270 人		251 人	0 人	8 人	5 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で 3 年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業評価は 5 段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 - 成績は 5 段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) - GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 GPA ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) - 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 2880 時数）を履修しており、単位 142 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、作品制作や検定試験対策などのアドバイスを担任が行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42 人 (100%)	0 人 (0%)	39 人 (92.8%)	3 人 (7.14%)
（主な就職、業界等）動物病院・動物看護師/トリマーなど シュガー動物病院、アリス犬猫病院、Beco 犬猫クリニック、グリーンヒル動物病院、しみず動物クリニック、アイドル総合動物病院、アニモ動物クリニック、さわもと犬猫病院、リヴ動物病院、とみながペットクリニック、うおずみ動物病院、博多犬猫医療センター、東福岡たぬま動物病院、ブリーダー、みなとおおほり動物病院、犬と猫の病院島原アニマルケアセンター、カレン動物病院、さくらい動物病院、ゆう動物病院、長者原う動物病院、わだ動物病院、もみじ動物病院、大津どうぶつ医療センター、尾石動物病院、志摩なかむら動物病院、猫カフェ MOCHA、エムズ動物病院、グリーンランド開発株式会社 ワンちゃんとゆかいな動物広場、老司どうぶつ病院、海の中道動物病院、オーク動物病院、阿蘇動物病院、さくらペットクリニック、海動物病院、わかみや動物医療センター、はぐ動物病院			
（就職指導内容） 1 年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等） 愛玩動物看護師資格(国家資格)、愛玩動物飼養管理士(1～2 級) 認定トリマーライセンス(ベーシック B～C 級)、ICC 認定キャットグルーマー、認定ドッグトレーナーライセンス(ベーシック B～C 級)、サービス接遇検定、Word 文書処理技能認定試験、			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
200 人	15 人	7.5%
（中途退学の主な理由） 健康上の理由、進路変更、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 学生サポート職員による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
ビューティービジネス学科	150,000 円	660,000 円	240,000 円	令和 7 年入学生より、 生徒納付金を変更しております。
フラワービジネス学科				左記記載金額は令和 7 年入学生 の生徒納付金であり、 それ以前の入学生の生徒納付金 は下記の通りです。
IT ビジネス学科				・入学金 100,000 円 ・授業料 660,000 円 ・その他 239,000 円
総合ビジネス学科				そのほか、選考料 20,000 円 校友会費初年度 10,000 円 団体保険料 2,000 円 教材費(※学科によって異なる)
経営学科	150,000 円	660,000 円	270,000 円	ビューティービジネス学科 および総合ビジネス学科は 令和 6 年度入学生の募集をもっ て募集停止しております。
ペットビジネス学科				
愛玩動物看護学科				
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.kdg.ac.jp/about/information/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校の理念・運営・教育活動・成果・学生支援・教育環境・学生募集・財務・コンプライアンス・社会貢献など主に10個の基準について、7名以上の評価委員と学校関係者で評価を行う。委員は、 ①企業団体関係者、企業経営者またはそれに準ずる者より1名、②公認会計士、税理士またはその他財務の専門家より1名、③学校卒業生より2名以上、④福岡市博多区の住民で責任的立場にある者より1名、⑤その他学校長が必要と認めた者から構成され、学校関係者評価委員会は年1回(8月頃)開催する。 業界が求める人材像や必要とされる知識、技術など教育や就職指導に関する意見を交わし、評価を受けた後、評価が低い案件については学校長と学務責任者で確認し、学務会議での協議を通じて10月以降学務責任者指導の下、改善に向け取り組んでいく。 《過去議題例》 教育に関して：業界が求める学び/留学生制度/社会性の向上/修学支援の新制度/ 法人合併後の教育システム変更及びカリキュラム統一 就職に関して：インターンシップの中身/卒業生の活躍状況把握/ 就職率向上から就職の質向上へのポイント(業界EXPO、進路EXPO)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
福岡県洋菓子協会	2023年9月1日～ 2025年8月31日	業界団体
税理士法人アーク・パートナーズ	2023年9月1日～ 2025年8月31日	会計士
株式会社 荻田商業建築デザイン事務所	2023年9月1日～ 2025年8月31日	企業等・卒業生
オリエンタルホテル福岡	2023年9月1日～ 2025年8月31日	企業等・卒業生
アミ・シュプール	2023年9月1日～ 2025年8月31日	企業等・卒業生
株式会社映像ボックス	2023年9月1日～ 2025年8月31日	企業等・卒業生
博多区博多駅前3丁目2区自治会	2023年9月1日～ 2025年8月31日	自治会長
博多女子高等学校	2023年9月1日～ 2025年8月31日	高等学校
株式会社 Too	2023年9月1日～ 2025年8月31日	企業等
株式会社イクティス	2023年9月1日～ 2025年8月31日	企業等
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.ksb.ac.jp/information.html		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.ksb.ac.jp/information.html

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H140313000118
学校名（〇〇大学 等）	専門学校福岡ビジネス・アカデミー
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 21世紀アカデメイア

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		120人（－）人	108人（－）人	121人（－）人
内 訳	第Ⅰ区分	76人	66人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅱ区分	25人	28人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅲ区分	－人	－人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－人	－人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				121人（－）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人
----	-----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が「廃止」の基準に該当)	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	— 人	— 人
計	0人	— 人	— 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	— 人	0人	— 人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	— 人	— 人	— 人
計	— 人	— 人	— 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。